

子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体が 文部科学大臣から表彰されます！

子供の読書活動の推進において優れた取組を行った学校・園・図書館・団体が文部科学大臣表彰を受けます。

1 表彰の概要

(1)趣 旨

国民の間に広く子供の読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動において特色ある優れた実践を行っている学校・園・図書館・団体及び個人に対し、その実践をたたえ文部科学大臣が表彰する。

(2)被表彰校等

【学校・園】社会福祉法人 広島愛育会 認定こども園五日市乳児保育園

竹原市立忠海学園

安芸太田町立加計小学校

広島県立宮島工業高等学校

【図書館】 東広島市立サンスクエア児童青少年図書館

【団 体】 お話しサークル「けやきっ子」(尾道市)

(3)被表彰校等の活動概要

別紙のとおり

2 表 彰 式

(1)日 時

令和6年4月23日(火) 15:55~17:00

※「令和6年度子どもの読書活動推進フォーラム」において行われます。

(2)場 所

国立オリンピック記念青少年総合センター(カルチャー棟大ホール他)

(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

《参考》令和6年度被表彰校等の数

【実践校・園】169校・園、【図書館】44館、【団体・個人】50団体・個人

【学校・園】

学校・園名	主な取組
社会福祉法人 広島愛育会 認定こども園 五日市乳児保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人広島愛育会認定こども園五日市乳児保育園では、日々、子供たちに読み聞かせや、絵本の貸出しを行うなど、遊びの中で本に親しめるような支援を行っている。 ・平成29年9月には、園に隣接する空き家を活用した「こども図書館」を開設している。開館中は、学校司書の役割を果たす保育士が常駐し、本の管理や本の貸出し、保育者への選書のアドバイス等、専門的な見地から、子供の本に関わる環境の充実に取り組んでいる。 ・「こども図書館」は在園児・保護者のみならず地域の方にも開放しており、地域の未就園児や近隣の小学生、園に隣接する「地域子育て支援ルーム」や「児童発達支援・放課後等デイサービス」の利用者等も自由に利用するなど、地域の図書館として根付いている。 ・園内でも「絵本の読み聞かせ」の意義を職員全体で共有するため、園内研修を数回に分けて行うことで、全職員がもれなく受けられるよう工夫している。 ・これにより、保育者が子供の遊びに積極的に絵本を活用したり、意図をもって読み聞かせの選書をしたりする等の変容が見られている。
竹原市立忠海学園	<ul style="list-style-type: none"> ・竹原市立忠海学園では、児童生徒がこれからの変化の激しい社会で主体的に生きていくために、国際団体「ACT21s」が提唱する「21世紀型スキル」の育成を目指し、全教科を対象に、学校図書館の三機能を活用した授業実践を行うとともに、学校司書と連携し、読書環境を整えている。 ・子供にとって魅力的な本の集まる学校図書館を目指し、「学校図書館に置く本は教師ではなく、児童生徒が中心になって決める」というスローガンのもと、児童生徒会活動による選書を行ったり、学校図書館部を設立して部員同士の本の紹介活動を行ったりするなど、普段の読書活動を児童生徒主体で充実させてきた。 ・児童生徒の一人1台端末で、校内及び市立図書館の蔵書検索を行うとともに、読書ログを記入し交流できるアプリを活用したり、市立図書館のシステムを使った電子書籍の閲覧や貸し出しシステムを活用したりしている。 ・開校当初より、保護者や地域のボランティアの協力のもと、読み聞かせや図書館整備を行っている。 ・こうした取組の成果として、「本を読むことが好き」と答えた児童生徒の割合が、69%から80%に増加し、不読率は8%から1%と、大幅に減少した。

<p>安芸太田町立 加計小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸太田町立加計小学校では、学校図書館が、学校教育目標の「気づいて考えて やってみる！」を支える環境として位置付くことを目指した取組を行っている。発達段階を考慮し、実際の児童の様子を踏まえつつ、知的好奇心を喚起し、読書に親しむことができるよう、読書環境の整備に取り組んでいる。 ・最初に取り組んだのは「学校まるごと図書館」としての環境づくりである。これまでの図書室に読み物を中心に配架し、絵本、調べ学習コーナーを図書室から延長した校内のスペースに設置した。校舎中央の交流ホールにも季節に応じた本の展示やゆったりと本と触れ合えるスペースを用意するなど、児童が生活の中で本と触れ合える場づくりをしている。 ・読み聞かせボランティア「なないろ」の各学級での読み聞かせと校内展示を関連付けたり、同一作家の本の中から人気投票をしたりするなど、児童生徒の主体的な読書活動につながるような工夫も見られる。 ・学校図書館の整備に関するアドバイス、月1回の読み聞かせ活動、教科用の図書の準備や図書委員への読み聞かせ指導など、公立図書館との連携を密に行い、教職員と児童自身が環境整備や読書活動に取り組んでいる。 ・一人1台端末を活用して、おすすめの本をプレゼンしたり、理科で図書室の本を使って調べ、調べたことを発表ノートに写して提出したりする等、積極的に図書やICTを活用して児童自らが問題解決を行う授業実践に取り組んでいる。図書室とアクティブラーニングルームがつながっているため、放課後学習など児童が図書室で学習する姿も見られるようになった。 ・読書が生活の中に位置付けられ、読書を継続して楽しめるよう、長期休業中に親子読書の取組も行っている。 ・こうした取組の成果として、児童の不読率は0%となっている。
<p>広島県立 宮島工業高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県立宮島工業高等学校は、令和3年度に学校図書館リニューアルを実施し、開放的な空間を作る等、生徒が訪れやすい図書館づくりを進めるとともに、教科等の授業で学校図書館の活用を進める等、情報センター、学習センターとしての機能を高めている。 ・工業科としての知見と学校図書館リニューアルのノウハウを生かして、近隣の小学校の図書館に設置する物品の製作等を行っている。また、令和4年度は、他の高等学校の学校図書館リニューアルに関わり改修工事を手伝った。 ・公共図書館の相互貸借機能を活用し、資料を充実させることで、各教科の調べ学習に適する環境を準備している。また、学校図書館リニューアルによって図書館のレイアウトが一新され、グループ活動がしやすい学習環境を整えている。 ・図書館内において、新着図書を分かりやすく配置したり、毎月発行している図書だよりにおいて新着図書や部活動に関係する図書等を紹介したりするなど、読書に関わる新たな興味・関心を喚起するような取組を行っている。毎号の図書だよりを、学校のホームページに掲載し、生徒だけではなく保護者を含む外部に対しても情報提供を行っている。

【図書館】

図書館名	主な取組
東広島市立 サンスクエア 児童青少年 図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングアダルト世代向けのブックリストや図書館通信などを市内中学校・高等学校に定期的に配付し、自主的な読書のきっかけづくりを行っている。 ・読み聞かせボランティアの協力を得て、月8回の読み聞かせを行うほか、「あかちゃんのためのおはなしかい」や「よるのこわ〜い！おはなしかい」といった、季節やテーマに沿ったイベントを開催するなど、子供達の読書に対する興味・関心を高める取組を定期的に行っている。 ・学校と連携して、児童生徒が作成したおすすめ本のPOPを図書館内で本とあわせて展示し、子供達の読書の成果を発信する機会を提供している。 ・本のタイトルやデザインを隠し、本の内容のイラストのみを表示したカードを子供達に選んでもらい、カードと対応する本を貸し出す企画「このこ、どこのこ？きになるほん！」を通じて、子供達が新たなジャンルの本と出会うきっかけづくりを行っている。 ・年2回、春と秋の読書週間にあわせて、小学生等を対象に図書館の利用方法や本で調べて回答するクイズを出題するイベントを開催している。

【団体（個人）】

団体名	主な取組
お話しサークル 「けやきっ子」 (尾道市)	<ul style="list-style-type: none"> ・御調中央小学校において、月1回の読み聞かせや、おはなし会を実施し、子供達の本や読書に対する興味・関心を高めるとともに、読書習慣の定着を図る取組を継続的に行っている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、三密を回避するため、教材提示機を活用して、絵本をスクリーンに大きく映して読み語りを行うことで、読み聞かせの活動が難しい状況下においても継続的な活動を行った。 ・平成22年～28年に、巨大紙芝居を毎年1作品ずつ制作し、授業や地域のイベントなどで継続的に上演している。 ・みつぎ子ども図書館と連携し、団体貸出制度を活用して、授業の参考になる本や図鑑、季節の絵本など、おすすめの本をメンバーが図書館に出向いて選書し、定期的に御調中央小学校の各教室に届けている。 ・「御調地区読み語りネットワーク“みつぎおはなしの会”」の設立に関わり、みつぎ子ども図書館を拠点に町内で活動する5団体で情報交換や合同研修を行うなど、積極的に活動に関わることにより、ネットワーク内の連携した活動にも尽力している。